

OWNER'S GUIDE &

INSTALLATION INSTRUCTIONS

Thru-Hull: 1kW with Temperature Sensor

Tilted Element™ Transducer

Tilt Angles: 0°, 12°, 20°

Models:

B164, SS164

Chirp Models:

B175H, B175HW, B175L, B175M,
SS175H, SS175HW, SS175L, SS175M

Pair:

SS264N

Legacy Model:

SS264W

Patent <http://www.airmar.com/patent.html>

12/09/19
17-458-01-rev13
D-17-458-01-rev.13

製品のパフォーマンスを最適化し、物的損害、人身傷害、および/または死亡のリスクを軽減するために、以下の注意事項に従ってください。

警告：必ず2つの止めネジを取り付け、ネジにマリンシーラントを塗布してください。これにより、船体ナットが所定の位置にしっかりと固定されます。そうしないと、船体ナットが緩む可能性があります。

警告：取り付け時には、必ず保護メガネ、防塵マスク、および耳の保護具を着用してください。

警告：ボートを水中に置いたら、すぐに漏れがないか確認してください。3時間以上ボートのチェックを外したままにしないでください。わずかな漏れでも、かなりの水がたまる可能性があります。

警告：メタルハルのステンレス鋼ハウジング-ワッシャーがハルに接触していることを確認してください。ハウジングがしっかりと取り付けられないため、ワッシャーを使用してハルナットをアイソレーションブッシュに締め付けないでください。ワッシャーは船体に寄りかかっています。

注意：チャープトランスデューサー-エンジンルームやその他の高温の場所に設置しないでください。トランスデューサーが過熱すると故障する可能性があります。

注意：チャープトランスデューサー-トランスデューサーは常に水中で操作してください。空中で操作すると、トランスデューサーが過熱し、故障の原因になります。

注意：トランスデューサーの上部にある矢印は、ボートのキールまたはセンターラインを指している必要があります。これにより、トランスデューサー内の要素の角度が船体のデッドライズ角度と一致します。

注意：金属トランスデューサーをプラスの接地システムのある船に取り付けしないでください。

注意：トランスデューサーをケーブルで引っ張ったり、運んだり、保持したりしないでください。これにより、内部接続が切断される場合があります。

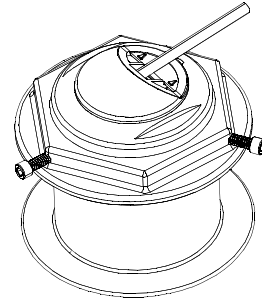
注意：金属製の船体内のステンレス鋼製のハウジング-ステンレス鋼製のハウジングは、電食を防ぐために金属製の船体から絶縁する必要があります。付属の絶縁ブッシングを使用してください。

注意：溶剤は絶対に使用しないでください。クリーナー、燃料、シーラント、塗料、およびその他の製品には、プラスチック部品、特にトランスデューサーの表面に損傷を与える可能性のある溶剤が含まれている場合があります。

重要：最適なパフォーマンスを得るには、スぺーサーの内面全体にマリンシーラントを塗布します。これにより、スぺーサーとトランスデューサーの側壁の間の隙間が埋められ、振動が防止されます。

Record the information found on the cable tag for future reference.

Part No. _____ Date _____ Frequency _____ kHz



Xducer
ID

Xducer
ID

重要：インストールを続行する前に、説明を完全に読んでください。これらの手順が異なる場合は、機器マニュアルの他の手順よりも優先されます。

用途

・ガラス繊維または木材の船体に推奨されるブロンズのハウジング。電食が発生するため、アルミニウム製の船体にブロンズ製のハウジングを取り付けしないでください。

・すべての船体材料と互換性のあるステンレス鋼ハウジング。ステンレス鋼ハウジングが金属の外皮から隔離されている場合、電食を防止するための金属の外皮に推奨されます。

トランスデューサーの傾斜角度をデッドライズに合わせる。トランスデューサーモデルが、選択した取り付け位置での船体のデッドライズ角度と一致していることを確認してください。傾斜角はトランスデューサーの上部に印刷されています（図1）。選択した取り付け位置での船体の死角を測定するには、角度ファインダーまたはデジタルレベルを使用します（図2）。

- ・0° から7° までの死角の0° トランスデューサー
- ・8° から15° のデッドライズ角度用の12° トランスデューサー
- ・16° から24° のデッドライズ角度用の20° トランスデューサー

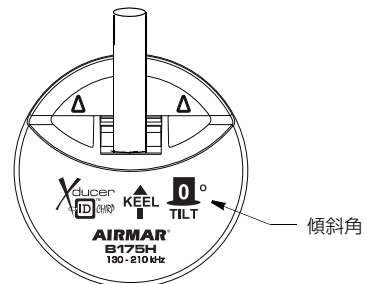


図1. トランスデューサーの上部 (0° モデルを表示)
Copyright © 2008-2012 Airmar Technology Corp.

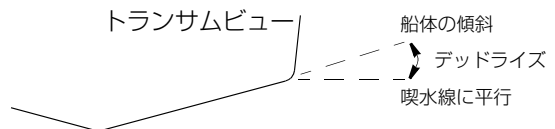


図2. 船体の死角

Copyright © 2005 Airmar Technology Corp.

ツールと材料

安全メガネ

防塵マスク

耳の保護

角度ファインダー

10mm (3/8 ") 以上のチャック容量の電気ドリル

ドリルビット：3mmまたは1/8 "

ホールソー：95mmまたは3-3 / 4 " (グラスファイバーまたはウッドハル)

105 mmまたは4-1 / 8 " (メタルハル) グラインダー (一部の設置)

サンドペーパー

マイルドな家庭用洗剤または弱溶剤 (アルコールなど) ファイル (金属製の船体への取り付け)

マリンシーラント (喫水線下に適しています)

アレンレンチ：3/16 "

スリッジョイントペンチ

グロメット (一部のインストール)

ケーブルタイ

水性防汚塗料 (塩水で必須) コア付きガラス繊維船体への取り付け：

船体内部のホールソー：152mmまたは6インチのグラスファイバー樹脂

取付位置

注意：水の取水口または排水口に沿って、またはその近くに、または水流を妨げるストレーク、フィッティング、または船体の凹凸の後ろに取り付けしないでください。

- 船体の下を流れる水は、泡や乱流が最小限に抑えられた滑らかなものでなければなりません (特に高速時)。
- トランスデューサーは継続的に水に浸す必要があります。
- トランスデューサービームは、キールまたはプロペラシャフトに遮られてはいけません。
- プロペラとシャフト、その他の機械、その他の超音波探知機、その他のケーブルなど、電力や放射線源によって引き起こされる干渉から離れた場所を選択してください。ノイズレベルが低いほど、使用できるエコーサウンダーのゲイン設定が高くなります。
- ハウジングの高さに対して最低178 mm (7インチ) のスペースがある容器内のアクセス可能な場所を選択し、スパーサーを取り付け、ナットと止めネジを締めます。
- チャートトランスデューサー過熱を避けるために、エンジンから離れた涼しく換気の良い場所に取り付けます。
- ペアトランスデューサーを中心線 (キール) の反対側に相互に取り付けます (図4)。

ボートのタイプ (図3)

滑走艇のパワーボート-トランスデューサーが高速で水と接触することを確実にするために、中心線の近くの、船体の最初のセットの揚力ストレークの内側にしっかりと取り付けます。プロペラブレードが下に移動している船体の右舷側が推奨されます。

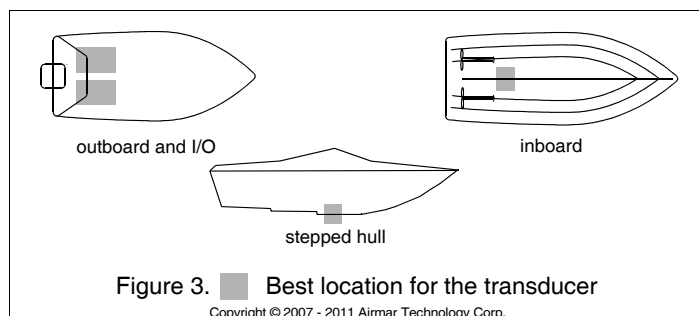


Figure 3. ■ Best location for the transducer

Copyright © 2007 - 2011 Airmar Technology Corp.

- 船外機およびI / O エンジンの直前に取り付けます。
- 船内-プロペラとシャフトの十分前方に取り付けます。
- ステップハル-最初のステップの直前にマウントします。
- 25kn (29MPH) を超える速度が可能なボート-先に進む前に、同様のボートの設置場所と動作結果を確認してください。
- 船外機およびI / O エンジンの直前に取り付けます。
- 船内-プロペラとシャフトの十分前方に取り付けます。
- ステップハル-最初のステップの直前にマウントします。
- 25kn (29MPH) を超える速度が可能なボート-先に進む前に、同様のボートの設置場所と動作結果を確認してください。

取り付け

穴あけ&ドライフィッティング

1. 船体の内側から、船体ナットをガイドとして使用して十分なスペースを確保し、中心点をマークします。次に、3mmまたは1/8 "の下穴を開けます。選択した取り付け位置の近くにリブ、ストラット、またはその他の船体の凹凸がある場合は、外側から穴を開けます。
2. 95mmまたは3-3 / 4インチのホールソーを使用して、船体の表面に垂直な船体の外側から穴を開けます。グラインダーまたはやすりを使用して、穴をわずかに拡大する必要がある場合があります。
3. 金属製の船体内のステンレス鋼ハウジング-絶縁ブッシングに対応するには、105 mmまたは4-1 / 8インチのホールソーを使用します。グラインダーまたはやすりを使用して、穴をわずかに拡大する必要がある場合があります。
4. シーリング材が船体に適切に付着することを確認するために、穴の内側と外側の周りを砂で磨いてきれいにします。船体内に石油の残留物がある場合は、やすりで磨く前に、家庭用中性洗剤または弱溶剤 (アルコール) で取り除きます。金属の殻-ファイルとサンドペーパーですべてのバリを取り除きます。
5. トランスデューサーをドライフィットして、スパーサーを切断する必要があるかどうかを判断します。船体の外側から、ハウジングを取り付け穴に押し込みます (図5)。内側から、ワッシャーの1つをハウジングにスライドさせます。開口端を船体に向けて、スパーサーをハウジングにスライドさせます。残りのワッシャーを追加します。ワッシャーの上のハウジングに最低3つのスレッドが表示されていることを確認してください。そうでない場合は、スパーサーをカットして短くします。スパーサーを切断するときは、必ず開口端を切断してください (図6)。

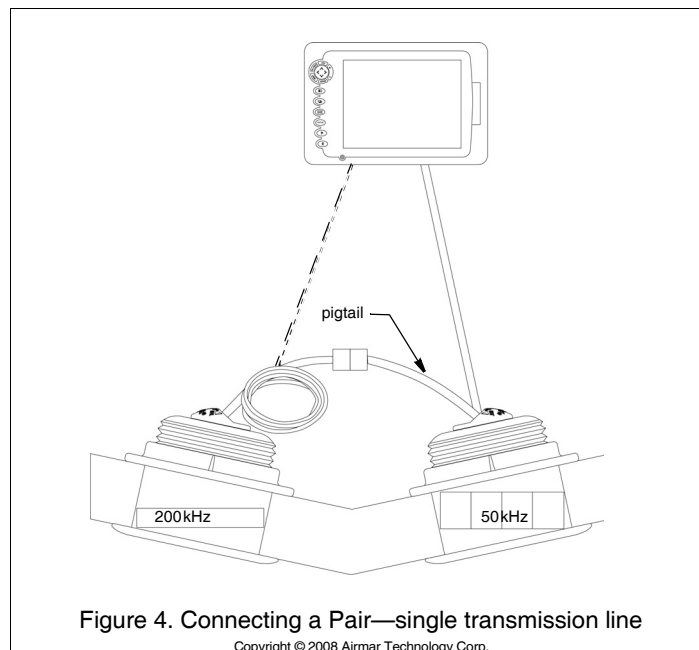
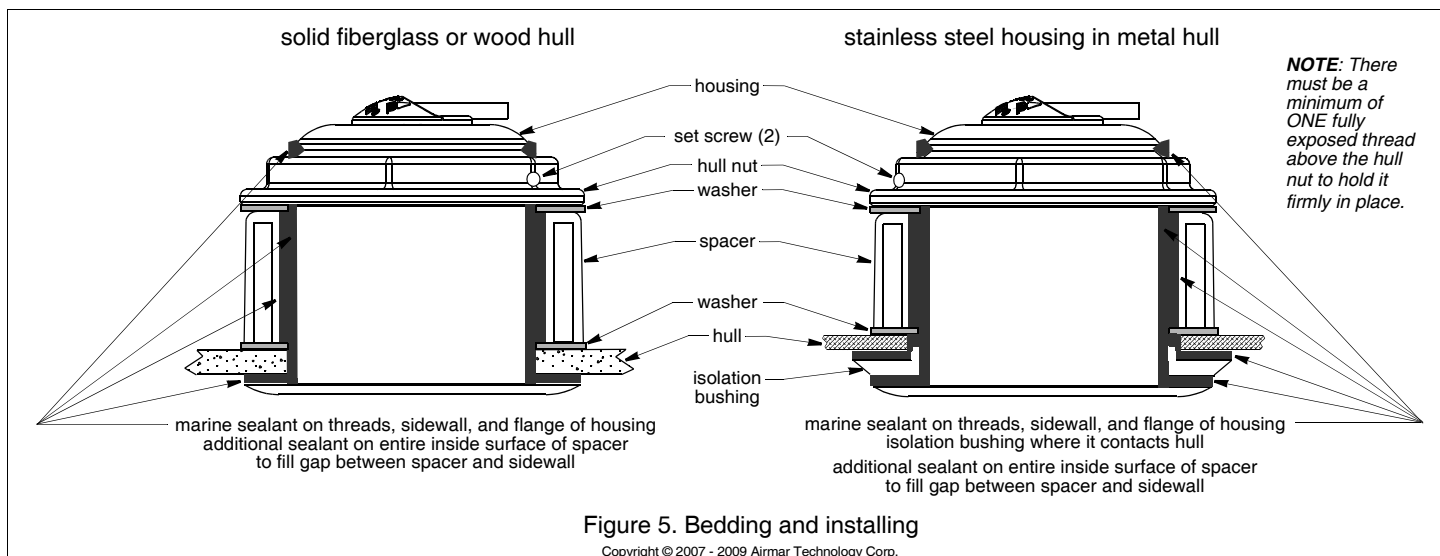


Figure 4. Connecting a Pair—single transmission line

Copyright © 2008 Airmar Technology Corp.



コア付きグラスファイバーハルのみ

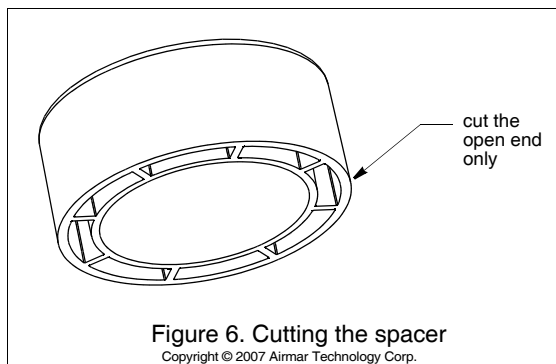
注意：コア（木材または発泡体）は、水の浸入から保護するために、慎重に切断して密封する必要があります。

1. 船体の内側から、152mmまたは6インチの船体内部のホールソーを使用して、内部のスキンとコアの大部分を切り取ります（図8）。コアの材料は非常に柔らかくすることができます。外皮を誤って切断しないように、内皮を切断します。
2. 芯材のプラグを外し、船体の外皮と内芯を完全に露出させます。穴の周りの内側のスキン、コア、および外側のスキンを砂で磨きます。

Bedding

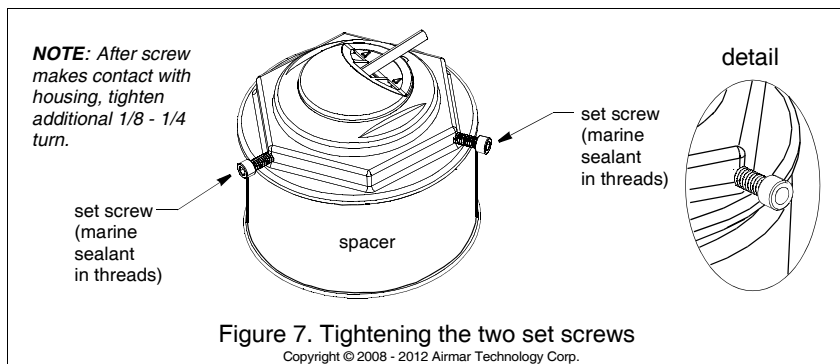
注意：Beddingの表面がきれい乾燥していることを確認してください。

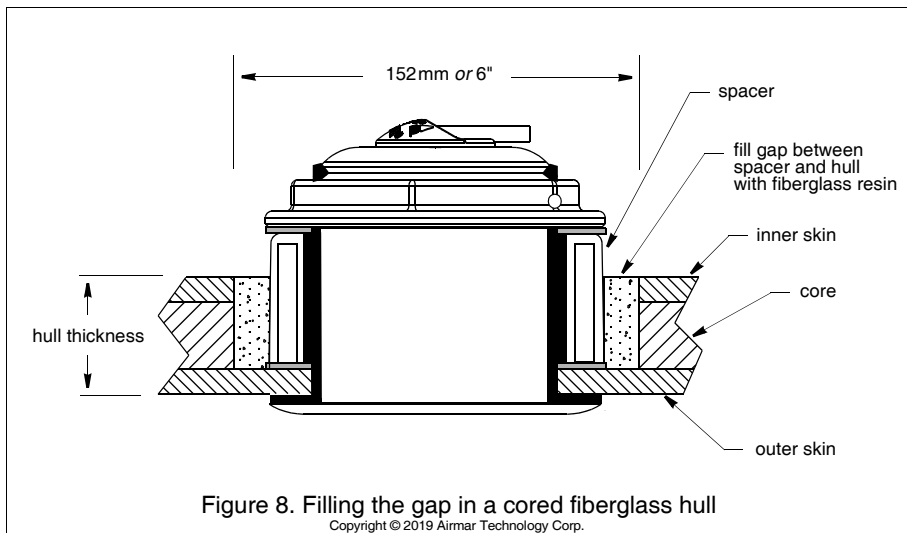
1. 海洋シーラントの4mm (1/8 ") の厚さの層を、ハウジングのフランジ、側壁、およびねじ山に塗布します（図5）。シーラントは、組み合わせた厚さよりも12mm (1/2") 長くする必要があります。ハル、スペーサー、ハルナット。これにより、船体をシールし、船体ナットを所定の位置にしっかりと保持するために、スレッドに海洋シーラントが確実に存在します。
- 金属製の船体内のステンレス鋼のハウジング-電食を防ぐには、ステンレス製のハウジングを金属製の船体から隔離する必要があります。絶縁ブッシングをハウジングにスライドさせます。船体に接触するブッシングの表面に追加のマリンシーラントを塗布し、ブッシング内とその周囲の空洞をすべて埋めます。
2. スペーサーの内面全体にマリンシーラントの4mm (1/8 ") 厚の層を塗布します。これにより、スペーサーとトランスデューサーの側壁の間の隙間が埋められ、振動が防止されます。



Installing

1. 船体の外側から、ケーブルを取り付け穴に通します。ねじり動作を使用してハウジングを取り付け穴に押し込み、余分なシーラントを絞り出します。
- 1, 12° および20° モデル-船体の内側から、トランスデューサー（およびケーブル出口）の上部にある矢印をKEELまたはボートの中心線に向けます（図1）。これにより、トランスデューサー内の要素の角度が船体のデッドライズ角度に揃えられます。
0. 船体の内側から、ワッシャーの1つをハウジングにスライドさせます（図5）。開放端がワッシャーに当たるまで、スペーサーをハウジングにスライドさせます。残りのワッシャーを追加します。ワッシャーの上のハウジングに最低3つのスレッドが表示されていることを確認してください。そうでない場合は、開口端を切断してスペーサーを短くします（図6）。
1. スリップジョイントプライヤーを使用して、ハルナットを所定の位置にねじ込みます。船体のナットの上に最低1つの全ねじが露出していることを確認してください。コア付きガラス繊維の船体-締めすぎないようにして、船体を押しつぶします。ウッドハル-ハルナットを締める前に、木材を膨らませます。付属の2つの止めネジでハルナットを固定します。
2. （図7）。止めネジのネジ山にマリンシーラントを塗布します。アレンレンチを使用して、ハウジングのネジ山に接触するまで各止めネジを締めます。さらに1/8〜1/4回転締め続けます。これにより、船体のナットがしっかりと固定されます。そうしないと、船体ナットが緩んで振動する可能性があります。
3. 船体の外側にある余分な海洋シーラントをすべて取り除き、トランスデューサーの下の水の流れがスムーズになるようにします。





コア付きグラスファイバーハルのみ

注意：船体を完全に密閉して、コアへの水の浸入を防ぎます。スペーサーと船体の間の隙間をグラスファイバー樹脂で埋めます（図8）。

ケーブルのルーティングと接続

注意：トランスデューサーにコネクタが付属している場合は、ケーブルの配線を容易にするためにそれを取り外さないでください。ケーブルを切断して接合する必要がある場合は、Airmarの防滴ジャンクションボックス番号33-035を使用して、付属の指示に従ってください。防水コネクタを取り外すか、ケーブルを切断すると、水密接続箱を使用する場合を除き、センサーの保証が無効になります。

1. ケーブルを機器にルーティングします。ケーブルを隔壁やボートの他の部分に通すときにケーブルジャケットを引き裂かないように注意してください。摩擦を防ぐためにグロメットを使用してください。電氣的干渉を減らすには、トランスデューサーケーブルを他の電気配線およびエンジンから分離します。余分なケーブルを巻き取り、ケーブルタイを使用して所定の位置に固定し、損傷を防ぎます。

2. 超音波探知機の取扱説明書を参照して、トランスデューサーを機器に接続します。

トランスデューサーのペア

• 単一伝送線魚群探知機— 200kHzトランスデューサーの10m (33') ケーブルを50kHzトランスデューサーの1m (3') ピグテールに接続します。残りの10m (33') ケーブルを魚群探知機に接続します（図4）。

• デュアル伝送ライン魚群探知機— 50kHzトランスデューサーでピグテールを使用しないでください。ケーブルタイでメインケーブルに固定します。50kHzトランスデューサーの10m (33') ケーブルを魚群探知機の低周波（50kHz）入力に接続し、200kHzトランスデューサーケーブルを高周波（200kHz）入力に接続します。

漏れのチェック

ボートを水中に置いたら、すぐに探触子の周りに漏れがないか確認してください。非常に小さなリークはすぐには観察できない場合があります。再度確認する前に、ボートを水中に3時間以上放置しないでください。小さな漏れがある場合、24時間後にかなりのビルジ水が蓄積する可能性があります。漏れが見られる場合は、すぐに「寝具」と「設置」を繰り返します（3ページ）。

メンテナンス、部品、交換

防汚塗料

塩水にさらされた表面は、防汚塗料でコーティングする必要があります。水性の防汚塗料のみを使用してください。ケトンはいくつかのプラスチックを侵す可能性があるため、ケトンベースの塗料は絶対に使用しないでください。トランスデューサーに損傷を与える可能性があります。防汚塗料は、6か月ごと、または各ボートシーズンの初めに再塗布してください。

クリーニング

水生生物の成長はトランスデューサーの表面に急速に蓄積し、数週間以内にそのパフォーマンスを低下させる可能性があります。Scotch-Brite®のたわしパッドと家庭用中性洗剤を使用して、傷を付けないように注意しながら表面を清掃します。汚れがひどい場合は、上質のウェット/ドライペーパーで軽く湿らせてサンドします。

交換用トランスデューサーとパーツ

交換用トランスデューサーの注文に必要な情報は、ケーブルタグに印刷されています。このタグは削除しないでください。ご注文の際は、部品番号、日付、周波数をkHz単位でご指定ください。参照しやすいように、この情報を1ページ目の上部に記録してください。紛失、破損、摩耗した部品はすぐに交換する必要があります。機器メーカーまたは海洋ディーラーから部品を入手してください。

Gemeco

USA

Tel: 803-693-0777
email: sales@gemeco.com

Airmar EMEA

Europe, Middle East, Africa

Tel: +33.(0)2.23.52.06.48
email: sales@airmar-emea.com



35 Meadowbrook Drive, Milford, New Hampshire 03055-4613, USA
• www.airmar.com

